

瀬戸内の観光列車

1.はじめに

今年の研究テーマは「瀬戸大橋 30 周年」ということでこの稿では「瀬戸大橋」から視野を少し広げて風光明媚な瀬戸内海を生かした観光列車について書かせていただきます。

2.瀬戸内地方の観光列車

(1)「伊予灘ものがたり」



↑下灘駅に停車する「伊予灘ものがたり」

JR 四国の予讃線松山～伊予大洲・八幡浜間を愛ある伊予灘線という愛称のつく路線を経由して運転され、車窓からは穏やかな海を間近に眺めながら愛媛の料理を楽しむことのできる観光列車です。途中の下灘駅では伊予灘が近くにあることから停車し車外に出ることができます。非電化区間があるため気動車のキロ 47 形が使用されています。

この列車は 2 両で運転されており、1 号車は伊予灘のクライマックスである夕日を連想させる「茜色」、2 号車は太陽や柑橘類の輝きを表す「黄金色」を基調とした配色としてそれぞれのカラーでイメージの異なるデザインとしています。1 号車は「茜の章」と銘打ち和座椅子の豊席を設置するなど「和」のテイストが感じられる車両に、2 号車は「黄金の章」としてダイニングカウンターをもつモダンスタイルのインテリアとしています。

座席は伊予灘の絶景を望む海向き展望シートと、食事を楽しみながら歓談できる4名用ボックスシート、2名用対面シートがあります。

「伊予灘ものがたり」は1日4便運行されており、大洲編、双海編、八幡浜編、道後編と分かれています。乗車するためには乗車券の他に普通列車グリーン券、食事をする場合にはさらに追加でお食事料金が必要になります。



↑車内の写真



↑下灘駅の駅名標



←松山駅の発車標



↑大洲編で2018年9月から提供されているメニュー

「伊予灘ものがたり」ホームページ(iyonadamonogatari.com/)より引用

(2)「瀬戸内マリレビュー」



↑ JR おでかけネット(www.jr-odekake.net/navi/kankou/area_hiroshima/setouchi_marine_view/)より引用

JR 西日本の呉線(広島～三原間には瀬戸内さざなみ線という愛称がある)、山陽本線の広島～三原間で運転され船をイメージした車内から多島美が楽しめる観光列車です。丸窓など客船のキャビンイメージした車内から多島美を満喫し、列車に揺られながらクルージング気分も味わえます。「瀬戸内マリレビュー」誕生時には通過区間はすべて電化されているにもかかわらず気動車であるキハ40形が使用されています。

現在は2018年7月に発生した西日本豪雨の影響により、呉線において長期間運転を見合わせているためこの「瀬戸内マリレビュー」の運転は取りやめられています。

客船のキャビンのような丸窓から射す陽光、羅針盤や地図などで装飾を施された車内で、指定席にはソファも設置されています。忠海～安芸幸崎間では海岸のすぐそばを走ります。

この列車は2両で運転されており、1号車は指定席、2号車は自由席となっています。指定席を利用する際は乗車券の他に座席指定券が必要になります。広島～三原間では呉、広島、安芸川尻、安浦、安芸津、竹原、忠海に停まります。広島～呉間はノンストップであるのにもかかわらず各駅に停まる普通列車より遅い場合があります。

2012年には大河ドラマ「平清盛」とのコラボで、平清盛ゆかりの地である宮島に近い宮島口駅までの延長運転が行われ、その列車には「清盛マリンビュー」と名付けられたり、期間限定で福山での延長運転が行われたこともありました。



↑ 指定席の車内



↑ 丸窓など客船をイメージした車内

以上2つはJRおでかけネット トップページ おすすめの旅 列車を楽しむ! 観光も楽しむ! 観光列車の旅時間 広島・山口エリア 瀬戸内マリンビュー

(www.jr-odekake.net/navi/kankou/area_hiroshima/setouchi_marine_view/)より引用

(3) La Malle de Bois



JR 西日本及び四国の山陽本線岡山～尾道間、宇野線の岡山～宇野間、宇野線、本四備讃線、予讃線、土讃線岡山～琴平間で運転されている観光列車です。岡山～尾道間の列車には「ラ・マルしまなみ」、岡山～宇野間の列車には「ラ・マルせとうち」、岡山～琴平間の列車には「ラ・マルことひら」という愛称があります。全ての区間において電化されているため 213 系電車が使用されています。

この La Malle de Bois は、現代アートやサイクリングを楽しめることができる瀬戸内エリアのアクセスとして運行されており、車内にはサイクルスペースを設置していたり、La Malle de Bois が発車する岡山駅 5 番線には自転車の組み立て可能なスペースが設置していたりします。



↑ 自転車の組み立てスペース

乗車には乗車券の他にグリーン券が必要になります。

「ラ・マルしまなみ」は岡山駅からレトロと新しさが共存し様々な表情をもつ尾道への列車です。毎週日曜日に運転されています。岡山～尾道間では途中、倉敷、

福山に停まります。

「ラ・マルせとうち」は岡山駅から島旅に誘うアートな港町宇野への列車です。毎週土曜日に運転されています。岡山～宇野間では途中の駅には停まりません。

「ラ・マルことひら」は、お参りもグルメも華やかに幸せに運ぶ琴平への列車です。祝日に運転されています。岡山～琴平間では児島、多度津、善通寺に停まります。この列車は児島～多度津間で瀬戸大橋を渡ります。現在、213系は快速「マリンライナー」での運用撤退後は普通瀬戸大橋を渡りませんが、この列車は唯一瀬戸大橋を渡ります。

(4)「瀬戸大橋 アンパンマントロッコ」



JR 西日本及び四国の宇野線、本四備讃線、予讃線の岡山～高松間と宇野線、本四備讃線、予讃線、土讃線の岡山～琴平間で運転されている観光列車です。岡山～高松の列車では児島～坂出間で、岡山～琴平の列車では児島～琴平間でトロッコに乗車することができます。キハ185系が使われています。

2両編成のうち、一方は木の温もりと自然の風が感じられる「トロッコ列車」、もう一方は、天井、シート、カーテンなど四方をアンパンマンと仲間たちでデザインしたアンパンマン列車です。車内には、線路が覗ける「床下窓」や、子供用制帽を備えた「記念撮影コーナー」、アンパンマンの絵本を集めた「本棚」など、楽しい仕掛けがたくさんあります。

この列車は乗車券の他にグリーン券が必要になります。岡山～高松間の列車は途中端岡、鴨川、坂出、児島に、岡山～琴平間の列車は途中、善通寺、多度津、丸亀、宇多津、児島に停まります。



↑ トロッコの車内



↑ 客室の中

以上2つはJR 四国 瀬戸大橋アンパンマントロッコについて

(www.jr-eki.com/aptrain/naani/torokko_seto/train.html)より引用

3,さいごに

いかがでしたでしょうか。ここまで風光明媚な瀬戸内海を生かした観光列車について書いてきましたが、これらの観光列車は、景色が綺麗ということと、もう一つ、地元の歓迎があるということです。そういう意味でも観光列車は良いところがたくさんあるので1度乗ってみてはいかがでしょうか。

そして、執筆現在(2018年8月)、先述の通り2018年7月の西日本豪雨の影響により、「瀬戸内マリレビュー」が通過する呉線が橋脚流出などの被害があったため現在も運転が見合わせられています。呉線やその他の路線の早期復旧を願うとともに、西日本豪雨で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

4,参考文献

「伊予灘ものがたり」ホームページ

iyonadamonogatari.com/

JR おでかけネット トップページ おすすめの旅 列車を楽しむ！観光も楽しむ！

観光列車の旅時間 広島・山口エリア 瀬戸内マリンビュー

www.jr-odekake.net/navi/kankou/area_hiroshima/setouchi_marine_view/

JR 西日本 トップページ ニュースリリース 大河ドラマ「平清盛」と連動した観光列車の運転について

www.westjr.co.jp/press/article/2011/10/page_946.html

La Malle de Bois ホームページ

www.jr-odekake.net/navi/kankou/lamalledebois/

La Malle de Bois パンフレット

JR 四国 トップページ 観光列車・ご旅行 アンパンマントロッコ

www.jr-shikoku.co.jp/01_trainbus/event_train/anpanman.html

JR 四国 瀬戸大橋アンパンマントロッコについて

www.jr-eki.com/aptrain/naani/torokko_seto/train.html

平成 30 年度上期「瀬戸大橋アンパンマントロッコ」「ゆうゆうアンパンマンカー」の運転日について 平成 29 年 12 月 15 日 四国旅客鉄道株式会社

[www.jr-eki.com/aptrain/pdf/untent_30kamiki.pdf#search=平成 30 年度上期「瀬戸大橋アンパンマントロッコ」「ゆうゆうアンパンマンカー」の運転日について](http://www.jr-eki.com/aptrain/pdf/untent_30kamiki.pdf#search=平成30年度上期「瀬戸大橋アンパンマントロッコ」「ゆうゆうアンパンマンカー」の運転日について)

特記なければ筆者撮影